

主題名

だれにでも、「思い」を「形」に

教材名

心に通じた「どうぞ」のひとつこと（東京書籍）

内容項目

B-(7)『親切、思いやり』

本単元で育成する資質・能力

思考・表現 協力・協働

- 1 対象・日時 第6学年1組 男子7名 女子8名 計15名
令和6年10月30日（水） 第3校時

2 主題設定の理由

- 本主題は、「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別の教科 道徳編」小学校第5学年及び第6学年の内容項目B-(7)「誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること。」を基に設定したものである。

この段階においては、自他を客観的にとらえることができるようになってくるため、相手の置かれている状況を自分自身に置き換えて想像できるようになる。また、家の周囲や学校といった狭い範囲だけでなく、地域社会における公共の場所など活動範囲がより一層広がり、より多様な人々と接する機会が多くなっていく。人間関係の深さの違いや意見の相違などを乗り越え、思いやりの心とそれが伴った親切な行為を、児童が接する全ての人に広げていくことが重要である。

親切とは本来、相手を選んだり、外的な報酬のためにしたりするものではなく、だれであろうと、目の前にいる相手のことを考え、相手のために行動することである。親切にしたいという意欲や周りを気遣う温かい心は、「行為」として示したときに親切へと変わることに気付かせたい。相手の立場や気持ちを真剣に考え、より深い思いやりの心をもって親切な行動ができるような児童を育て、温かい心や温かい行為、または勇気ある行為が広がる学級づくりを目指していきたいと考える。

- 本学級の児童は、親切にすることはよいことであり、困っている人に対して進んで親切にすべきという意識をもっており、身近な人や下級生に対してはそういった意識が行動として表れている場面が多く見られる。しかし、地域の人や知らない人には恥ずかしいという理由で相手を選び、「誰にでも」とはほど遠い実態が見受けられる。事前に行ったアンケートでは、次のような結果が見られた。

☆ 坂道を歩いていると、前方に、おばあさんが重そうな荷物を抱えながら歩いているのが見えました。あなたはどの気持ちに近いですか。	
ア どうしよう、困ったな。大丈夫かな。	6人
イ 重そうだな。声をかけようかな。でも、知らない人だし…。	4人
ウ 声をかけてみよう。助けたい。	3人
エ 1人で運んでいるし、大丈夫だろう。	1人
☆ このような経験が今までありますか。	
・下校中の階段で、重そうな荷物を持って歩いていた人がいたが、声をかけられなかった。	
・おばあちゃんがひいひい言いながらバスに乗ってきて、ずっと重たい荷物を持っていたので助けたいなと思ったが、知らない人だから助けなかった。	

上記の結果から、困っている人を助けたいと思う気持ちがありながらも、行動できなかつたり、身近な人なら進んで行えることも、声のかけづらい人には進んで行えなかつたりするということが分かる。自ら進んで親切にすることや親切のよさについて理解しているが、思いを行動に移せない傾向にあるため、本授業を通して、だれにでも進んで、親切にしたいという思いを行動や言葉にして伝えられるような態度を育てる必要があると考える。

- 本教材は、列車に乗っている「ぼく」の前に、荷物を持った腰の曲がったおじいさんが立ったとき、席を譲ろうと立ったものの「どうぞ」の一言が言えず、いつの間にか他の人が席に座ってしまう。しかし、後悔する「ぼく」におじいさんが声をかけ、「ぼく」の心が温かくなり、自分の行動についても考えていくという話である。

指導に当たっては、事前アンケートを活用して、「親切にしたい。」「困っている人を助けたい。」という思いをもちながらも行動できそうにない心の弱さや、思うだけで行動しなかった、また、できなかったという児童の実態を取り上げることで、「だれにでも」＝「知らない人でも」親切にするために大切なことは何かという本時のめあてにつないでいく。

展開前段では、おじいさんに席を譲りたいから「どうぞ」と言って立ちたいと思いつつも言えない「ぼく」の行動の是非やその後の気持ちを考えることを通して、「譲る」ということは親切な行為であるが、十分ではないということ、「ぼく」のおじいさんへの親切な気持ちは、「ぼく」の「どうぞ」と言えない弱さのために届かなかったことを気付かせたい。

中心発問では、おじいさんがうれしい気持ちを抱いたまま立ち去ったり、会釈したりする訳もなく、わざわざ「ぼく」のところに来て手を握り（行動）、気持ち（言葉）を伝えた行為の真意を問うことで、親切とは「落ち込んでいるぼく」＝「困っている人」のために行うものであり、また、親切にしたいという思いは、その思いを行動や言葉に表すことで初めて、伝えたい相手に届くということに気付かせたい。

展開後段では、「ぼく」がおじいさんの姿から気付いたことを考えることで、「だれにでも」親切にするために大切なことを考え、本時の主題に迫っていく。

終末では、本時の授業や自分の生活をしっかりと見つめ振り返ることで、相手のために思い、思いを形に表すことで、親切はより伝わることにも気付かせ、これからの生活につなげていきたい。また、下級生へ親切にしている様子やCM（AC JAPAN）・宮沢章二著「行為の意味」とを結びつけた動画を視聴し、日々の行動を教師が価値付けしたり、誰に対しても親切にしたいという意欲をもたせたりしていく。

3 他の教育活動との関連

Change Oneself プロジェクト

子どもの姿

before

友達や下級生に対しては、進んで親切にしようとしている姿が見られるが、知らない人や地域の人に対しては、勇気がもてず行動に移せない児童の姿が見られる。

アンケート

あなたはだれに親切にしていますか。

事前活動

【学校行事】 広南学園運動会、体カテスト、縦割り掃除

ソーラン節や体カテスト、掃除などで下級生に教えたり、手助けしたり、ほめたりすることで、下級生に寄り添いながら、親切な行動をする大切さに気付く。

【特別活動】 1年生の給食のお手伝い

配膳の仕方を分かりやすく教える、下級生の背や歩幅に合わせて食缶を運ぶ等、1年生のことを思い、1年生のためになる行動とは何か考えながら行おうとする。

【総合的な学習の時間】 石泉文庫の虫干し

広南に残る「石泉文庫」の虫干しの体験を通して、地域の人これまでの努力や思いを知り、地域の人と一緒に活動するよさや関わりの温かさに気付く。

【道徳科】 教材名：「心に通じた『どうぞ』のひとつ」（本時）

おじいさんの行動の意味や思いを考えることを通して、親切にしたいという思いは行動や言葉に表すことで伝わるということに気付き、だれにでも進んで、親切にしたいという思いをもち、その思いを行動や言葉にして伝えられるような態度を育てる。

内容項目：C-（7） 親切、思いやり

事後活動

【学校行事】 学習発表会

ゲストティーチャーから長浜の祭りの太鼓や小坪神楽を教わる活動を通して、地域を人の思いを知り、地域の人と一緒に活動するよさや関わりの温かさに気付く。

【学校行事】 広地区一斉クリーン活動

地域や地域の人のためになりたいという思いをもち、進んで声をかけたり、行動したりして、地域のために活動しようとする。

子どもの姿

after

誰に対しても、親切にしたいという「思い」をもち、その「思い」をしっかりと形（行動）に表している。

4 本時の学習

(1) 本時のねらい

おじいさんの行動の意味や思いを考えることを通して、親切にしたいという思いは行動や言葉に表すことで伝わるということや相手のことを思って行動できることが真の親切であることに気づき、だれにでも進んで、親切にしたいという思いをもち、その思いを行動や言葉にして伝えられるような態度を育てる。

(2) 学習の流れ

	学習活動	主な発問と予想される児童の心の動き (◎中心発問)	指導上の留意点 (・) (☆評価の観点)
導入 課題意識をもつ	1 アンケート結果を見て「親切」について課題意識をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 坂道を歩いていると、前方に、おばあさんが重そうな荷物を抱えながら歩いているのが見えました。あなたはどの気持ちに近いですか。 ○ このような経験がありますか。 ○ 親切って、知っている人、身近な人だけでいいのかな？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート結果から、知らない人には親切にできていないという実態に目を向けさせ、ねらいとする価値への方向付けを行う。
「だれにでも」親切にするために大切なことは何だろう。			
展開前段 学びを深める	2 教材「心に通じた『どうぞ』のひとこと」を読んで話し合う。 (タブレット端末使用) 個人思考 ↓ グループトーク ↓ 全体交流 (話したいわポイント)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ぼくはなにげなく次で降りるふりをして何も言わずにその場を離れました。」この行動は親切ですか、親切ではないですか。あなたはどう考えますか？ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 親切 (青色) <ul style="list-style-type: none"> ・ おじいさんのために立ったのだから優しい行動。 ・ おじいさんのために譲ったのだから親切だと思う。 ・ 行動していてすごいから。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 親切ではない (黄色) <ul style="list-style-type: none"> ・ 優しいけど、「どうぞ。」は言えなかったから。 ・ 立ったのはすごいけど、おじいさんには届かないかもしれないから。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 降りるふりをしてその場を離れたが、他の人が座ってしまいました。その時の「ぼく」は、どんなことを考えているでしょう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 腹が立つ。せっかくおじいさんに譲ったのに。 ・ なんでおじいさんが座らないんだよ。立たなければ良かった。 ・ 結局、おじいさんは座れていないのか。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ T1, T2で役割読みをしたり、場面に分けて登場人物や場面状況を確認したりすることで、教材により浸れるようにする。 ・ どちらの考えに近いのかタブレットで選択させることで、自分ごととして考えることができるようにする。 ・ 「親切」が多くなると考えられるので、「立って譲る」という親切な行為にしっかりと共感させながら、「どうぞ。」と言えない主人公の弱さに気付かせ、なぜ言えなかったのか、できなかった理由を考えさせる。 ・ 親切にしたと思っていた行為が、おじいさんへの親切にならなかったことに気付かせる。 ・ おじいさんへの親切が届かなかったのは、周りの人のせいだけではなく、自分のせい(「どうぞ。」と言えない)でもあることに気付かせる。

	<p>〈ノート〉 個人思考 ↓ グループ交流 ↓ 全体交流</p>	<p>・おじいさんに座ってほしかったのにな。 ・「どうぞ」と声をかけておけば良かった。</p> <p>◎ おじいさんは、なぜ、わざわざ「ぼく」の前に来てお礼を言ったのでしょうか。</p> <p>・おじいさんにとって、とっても嬉しいことだったから。 ・直接「ありがとう。」と、お礼が言いたかったから。 ・言わなきゃ伝わらないと思ったから。 ・「君の親切は伝わっているよ。」と伝えたかったから。 ・落ち込んでいる「ぼく」のために、伝えてあげたいと思ったから。</p>	<p>・ 考えをノートに書かせ、グループ協議から全体協議へと広げていくことで考えを深めていく。</p> <p>・ たまたまおじいさんが気付いてくれたから、男の子は嬉しい気持ちになったことに気付かせる。</p> <p>・ おじいさんは、落ち込んでいる「ぼく」のために、行動してくれたことに気付かせ、発問①、②とつなげて考えさせる。</p> <p>☆ 親切とは、相手の立場になって、相手が嬉しいことをするという。また、思うだけではなく、行動すること、言葉にすることで相手に伝わるといことに気付いている。（ノート・発言）</p>
<p>展開後段</p> <p>学習したことを振り返る</p>	<p>3 本時のまとめをする。</p>	<p>○ おじいさんの姿から、「ぼく」は、どんなことに気付いたのでしょうか。</p> <p>・やっぱり親切って広がっていくんだな。 ・次はぼくも「どうぞ。」と言葉をかけてから譲れる人になりたいな。 ・「ありがとう。」と直接言うことは、お互いが嬉しくなることなんだな。 ・知らない人でも、勇気を出して心を形にすることって大事なんだな。 ・行動に移すだけでなく、言葉もかけるとより相手に伝わるんだな。 ・自分がどうかではなく、おじいさんのように、相手のことを考えた親切な行動ができる人になりたいな。</p>	<p>・ おじいさんと「ぼく」との行動の違いについて考えさせる発問を行うことで、相手のために行動することのよさに気付かせる。</p> <p>・ 児童の発言をキーワード化して、「だれにでも」親切にするために大切なことを考え、本時の主題に迫る。</p>

終末	4 今までの自分を振り返る。	<p>○ 「だれにでも」親切にするために大切なことは何だろう。自分について振り返ってみましょう。</p> <p>・ぼくはなかなかできないので、おじいさんに譲りたいなと思って、席を立った「ぼく」を素晴らしいと思いました。立っただけでもすごいけど、言葉にすることでより相手へ届くと思ったので、おじいさんのように相手のことを考えて親切な行動ができる人になりたいです。</p> <p>・わたしは、地域で困っている人に出会い、助けようかなと迷ったけれど、勇気がもてず行動に移せませんでした。今日の学習を通して、思っていることは行動に移さないと届かないと分かったので、知らない人でも頑張ってみたいと思いました。</p>	☆ これまでの自分を振り返り、困っている人がいたら進んで親切にしていこうとする意欲をもっている。 (ノート)
	5 下級生へ親切の様子やCM (AC JAPAN)・「行為の意味」とを結びつけた動画を視聴し、教師の説話を聞く。	<p>○ この動画を見てください。</p> <p>・私はあの時できなかったけど、声をかけてみればよかったかな。</p> <p>・行動できる人って素敵だな。</p> <p>・確かに、「1年生のために」行動できているんだな。</p> <p>・もっと、いろんな人に親切にしたいな。</p>	・ 教師の説話により、知らない人や地域の人等、誰にでも親切にすることや相手の立場に立って、行動や言葉にして親切を形にしていくことの大切さに気付かせ、親切にしていこうという意欲をもたせる。

5 板書計画

**やっぱり親切って広がる 相手も自分も嬉しい
勇気が大事 自分の殻を破る 相手の立場になって
心を形に 思うだけじゃなく行動に移す**

◎おじいさんは、なぜ、わざわざ「ぼく」の前に来てお礼を言ったのでしょうか。

・嬉しい気持ちを直接言いたい。
・「伝わっているよ。」と伝えたい。
・言わなきゃぼくには伝わらないから。ぼくのために

他の人が座ってしまいました。その時の「ぼく」は、どんなことを考えているでしょう。

・腹が立つ。 ・おじいさんのために立ったのに。
・「どうぞ。」と言えなかったな。

親切ではない

・「どうぞ。」と、結局言えなかったから。
・おじいさんには届かないかもしれないから。

親切

・おじいさんのために立ったから親切。
・ちゃんと行動してすごい。
・ぼくだったらできないと思うから。

挿絵①

「ぼくはなにげなく次で降りるふりをしてその場を離れました。」

「だれにでも」親切にするために大切なことは何だろう。

アンケート結果

アンケート結果

恥ずかしい。
怖い。
=自分ことを考えている

挿絵②

=ぼくのために
=相手のために